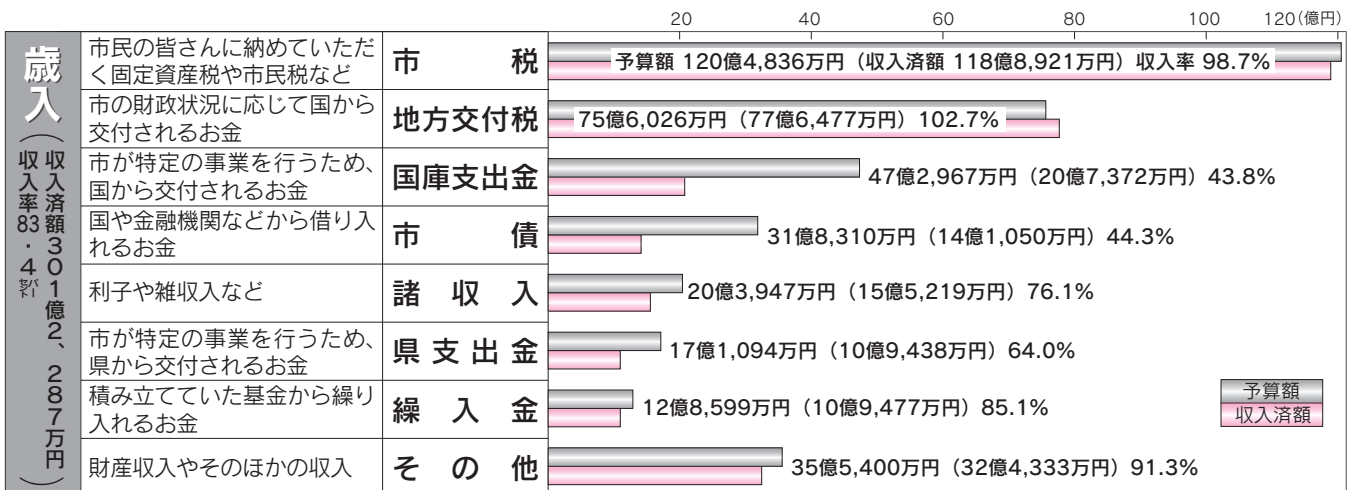


一般会計

収入率83%・執行率79%

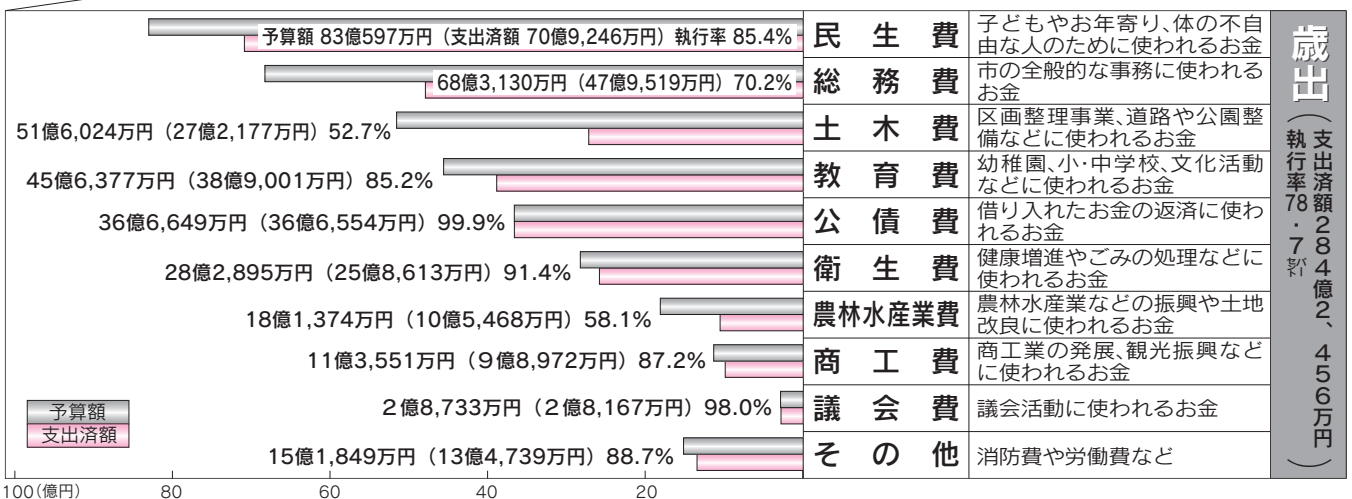
市では、皆さんが納めた市税などの収入状況やその使われ方、借入金(市債)などの財政状況を年2回公表。今回は、前年度の平成20年4月1日から21年3月31日までの状況をお知らせします。
※数字は21年3月31日現在のもので、4月と5月の収入・支出を含んでいないため決算額とは異なります。

一般会計／総額予算361億1,179万円



市民一人当たりが負担するお金 14万311円
(市税予算の総額120億4,836万円)

市民一人当たりに使われるお金 42万545円
(歳出予算の総額361億1,179万円)



※一般会計とは、市税を主な収入財源として、市民生活に密着した福祉や教育、道路整備やごみ処理といった行政サービス全般に関する経理を行う会計です。

特別会計

区 分	予算額	収入(上段)・支出(下段)済額	収入(上段)・執行(下段)率
国民健康保険 (事業勘定)	92億5,263万円	79億1,791万円	85.6%
		84億5,739万円	91.4%
国民健康保険 (診療施設勘定)	1億4,691万円	1億2,458万円	84.8%
		1億2,859万円	87.5%
老人保健	8億9,319万円	8億9,385万円	100.1%
		7億3,567万円	82.4%
介護保険	54億6,151万円	43億5,470万円	79.7%
		48億8,859万円	89.5%
特別養護老人 ホーム事業	3,344万円	0万円	0.0%
		3,292万円	98.4%
農作物直売事業	8,113万円	7,378万円	90.9%
		6,129万円	75.5%
伊香保温泉観光 施設事業	9,464万円	8,446万円	89.2%
		8,422万円	89.0%
小野上温泉事業	6億2,374万円	5億9,577万円	95.5%
		6億127万円	96.4%
交流促進センタ ー事業	2億4,752万円	1億7,750万円	71.7%
		2億923万円	84.5%
白井温泉こもち の湯事業	4,000万円	2,311万円	57.8%
		3,093万円	77.3%
たちばなの郷城 山事業	1億307万円	8,172万円	79.3%
		9,272万円	90.0%
下水道事業	19億3,454万円	9億4,583万円	48.9%
		16億2,834万円	84.2%
農業集落排水事 業	18億8,717万円	8億7,529万円	46.4%
		14億2,413万円	75.5%
個別排水処理事 業	3,654万円	536万円	14.7%
		1,925万円	52.7%
簡易水道事業	2億3,939万円	1億3,382万円	55.9%
		1億8,003万円	75.2%
後期高齢者医療	7億7,195万円	7億5,361万円	97.6%
		7億2,339万円	93.7%

※特別会計とは、国民健康保険事業や下水道事業のように、保険料や使用料などの収入によって運営する事業の会計。事業ごとの収支を明確にするため、一般会計と区別して経理しています。


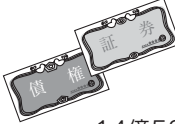
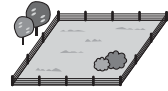
企業会計

区 分	予算額	収入(上段)・支出(下段)済額	収入(上段)・執行(下段)率
水道事業	15億4,473万円	15億6,531万円	101.3%
		16億7,017万円	99.4%
資本的事業	7,878万円	3,922万円	49.8%
		10億7,071万円	97.9%
病院事業	14億783万円	13億5,976万円	96.6%
		16億4,312万円	95.7%
資本的事業	4,119万円	4,039万円	98.1%
		6,945万円	87.0%

※企業会計とは、市などが直接経営する企業の会計です。事業収入で支出を賄うことを原則とし、一般会計と区別して経理しています。

※収益的事業＝企業の経営活動。

※資本的事業＝企業の将来の経営活動に備えて行う建設改良など。

市有財産 の状況 (H21.3.31現在)	基金 特定目的基金 34億3,451万円 その他の基金 30億433万円	建物  36万5,592㎡
	有価証券その他の権利  14億581万円	土地(山林含む)  1,222万9,513㎡
※特定目的基金とは、福祉事業や国際交流など、用途が特定されている基金のことです。その他の基金には、市税収入の大幅な減少などに備えて積み立てている基金を含みます。		

市の借入金(市債)の状況は総額514億27万円

市の借金である市債の平成21年3月31日現在残高は、一般会計と特別会計を合わせて、514億27万円です。市民一人当たり約60万円の借金があるということになります。

市債は、道路整備や公共施設の建設などを行うために、国や金融機関から借り入れた

ものです。施設を利用していく将来の市民の皆さんにも費用を負担してもらうことにより、世代間の負担を公平にすることができます。また、資金を借りることによって、その年の支出を少なくすることとなり、その他の事業にも取り組むことができます。

借入金の使いみち	金額	構成比
下水道の整備	212億2,258万円	41.3%
道路・橋りょうの整備、区画整理	82億4,990万円	16.1%
教育施設の建設	27億4,979万円	5.3%
温泉・観光施設の建設	17億4,242万円	3.4%
その他	174億3,558万円	33.9%
計	514億27万円	100.0%